

 **Simplicity**<sup>®</sup>

**SNAPPER**<sup>®</sup>

# GIANT-VAC<sup>®</sup>

## 手押し式バキュームスーパ 取扱説明書



Model	NO.
SV25550HC	7085638
SV25650B	7085687
SV25500HV	7085644
SV25550HV	7085642

ご使用になる前に必ず取扱説明書をお読み下さい

**重要** この取扱説明書には、数モデル合本になっています。御購入機によっては必要ない箇所があります。不明な点は、購入販売店へ御相談下さい。



ブリッグス・アンド・ストラットンジャパン株式会社

# 目次

1. はじめに	2
2. 安全の手引き	2
2-1 子供の保護	2
2-2 傾斜での操作	2
2-3 準備	3
2-4 ガソリンの安全な取扱	3
2-5 操作	3
2-6 メンテナンスと保管	4
3. 機械の組み立て	5
4. 各部の名称	7
4-1 序論	7
4-2 各部の名称	7
4-3 警告ラベル	7
5. 操作方法の説明	8
5-1 最初の始動前の点検項目	8
5-2 始動、停止方法	9
5-3 ホースキット（オプション品）	10
6. メンテナンス	11
6-1 メンテナンスを行なう前に	11
6-2 メンテナンスー最初の使用 5 時間後	11
6-3 メンテナンスー25 時間ごと	11
6-4 保管ーシーズン終わりに	11
7. 調整と修理	12
7-1 エンジンの調節と修理	12
7-2 インペラーの交換	12
7-3 インプラハザツグライターの交換方法	12
8. トラブルシューティング	13
10. 定期整備表	15

# 1. はじめに

このたびは弊社のバキュームスーパ―をお求めいただき誠にありがとうございます。

この説明書はバキュームスーパ―の正しい取扱方法と、簡単な点検手入れについて説明してあります。運転するには必ずお読みいただき、正しく安全な取扱いをお願いします。

本機の品質には万全を期しておりますが、作動の不具合や部品などに不審な点がありましたら、購入販売店、又は協力サービス工場へご連絡下さい。

- この取扱説明書はいつも手元に保管して繰り返しお読み下さい。
- 取扱説明書に記載された使用方法及び保守点検を守らない場合は、本機の故障や事故などの原因となり、機械の寿命を縮めるばかりでなく作業の安全を損ないます。

**お問い合わせ** 下記の記入欄に御買い求めになった、芝刈機及びエンジンのモデルNo.とスペックNo. 購入年月日、購入店名を記入頂き、お問い合わせ、部品の購入、修理依頼の際はシリアルNo.とスペックNo.を必ずご連絡下さい。

バキュームスーパ―の製造番号

モデルNo.
--------

購入年月日	年	月
-------	---	---

シリアルNo.
---------

購入店名
------

エンジンの製造番号

モデルNo.
--------

スペックNo.
---------

シリアルNo.
---------

--

## 2. 安全の手引き

**警告：**この機械は、誤った使用をすると手や足を切断するなど重大な怪我や事故を引き起こす可能性があります。また、重大な怪我をするような物を飛散させる可能性がある機械です。下記の安全の手引きをしっかりと理解し、守らないと作業員や周りの人に重大な事故や死亡事故を引き起こす可能性があります。所有者は、この機械の操作方法を十分に理解し、また、この機械の操作方法を十分理解した人だけに操作をさせて下さい。この機械の操作は、健康な人のみ操作して下さい。飲酒、薬物を服用した人は決して操作してはいけません。この機械を操作するにあたり、不明な点があれば御購入販売店へ御相談下さい。

### 2-1 子供の保護

作業員は、子供の存在に十分注意して下さい。注意を怠ると悲惨な事故や大怪我をする可能性があります。子供は、機械に興味をもちます。子供がずっと同じ場所にいると決め付けしないで下さい。

1. 子供を作業場所には入れないで下さい。また、作業場所の近くに子供がいる場合は、責任が持てる大人が監視して下さい。
2. 機械を操作している時は、絶対に作業場所に子供を入れしないで下さい。もし、子供が作業場所に入った場合は、エンジンを直ぐに OFF にして下さい。
3. 子供に機械を操作させないで下さい。
4. 責任を持てる機械に精通した大人のみ機械を操作して下さい。
5. 木の周りや壁際など死角になる場所では特に注意して下さい。

### 2-2 傾斜での操作

1. 傾斜での作業は、スリップや転倒の危険があります。平坦な場所での作業よりも重大な事故が起こる可能性が高くなります。傾斜で作業を行なう場合は、普段よりもより注意をして下さい。もし、作業員が安全を保つ事が出来ないと判断した場合は、決して傾斜での作業を行なわないで下さい。
2. 集塵バックがいっぱいの状態で傾斜での作業を行なう場合は、より注意して下さい。バックの重さにより、バランスがくずれることがあります。
3. 機械を傾斜に停止させないで下さい。

## 2-3 準備

1. 機械を作動させる前に、この取扱説明書をよく読み、理解して下さい。操作方法を完全にマスターし、注意事項と警告事項を完全に守って下さい。
2. この機械の操作をよく理解した責任の持てる大人だけが操作をして下さい。
3. 60歳以上の方が操作した場合、重大な事故や怪我をする可能性が高いというデータがあります。御高齢の方がこの機械を操作する場合は、特に操作方法を理解してから操作を行なって下さい。
4. ガソリンの取扱には注意して下さい。ガソリンは非常に可燃性があります。ガソリンは、許可されたタンクのみ保管して下さい。エンジンが動いている時に、燃料キャップを外したり、ガソリンを補充したりしないで下さい。ガソリンの補充は、エンジンを停止し、エンジンが十分に冷えてから行なって下さい。必ず屋外で行なって下さい。給油の際、ガソリンやオイルがこぼれたら、きれいに拭取って下さい。ガソリンの補充の際は、絶対にタバコを吸わないで下さい。
5. 作業エリアを確認し、機械に損傷を与えるようなおもちゃ、ワイヤー、大きな石、その他の障害物等を取り除いて下さい。また、切り株や穴等危険な場所を確認して下さい。
6. 作業エリアから作業者以外の人、ペット等を作業エリアの外に出して下さい。もし、作業エリアに入人やペットが侵入した場合は、直ぐにエンジンを停止して下さい。
7. シールド、ディフレクター、スイッチ、エンジン操作レバー、その他の安全装置が適切な場所にあり、適切に作動するか点検をして下さい。
8. 全ての警告ラベルが読める位置にあるかどうか確認して下さい。もし、損傷がある場合は、交換して下さい。
9. 機械を操作する場合、保護メガネ、耳栓、マスク、長スボン、安全靴を装着し自分の身を守って下さい。決して裸足やサンダル等で作業を行なわないで下さい。
10. 緊急時に備えて、直ぐにエンジンを停止できるように、エンジン停止方法をよく理解しておいて下さい。
11. 機械をトラックやトレーラーに積み降ろしをする際は、特に注意して下さい。
12. 集塵バックと構成部品を点検し、破損等がないか確認して下さい。破損がある場合は、飛散物により怪我をしないよう集塵バックを交換して下さい。

## 2-4 ガソリンの安全な取扱

身体への障害や物的損害を避ける為に、ガソリンを取り扱う際は、十分に注意して下さい。ガソリンは非常に可燃性があります。また、蒸発したガソリンは爆発の危険性があります。

1. 全てのタバコ、葉巻、パイプ等火の気のある物は全て消して下さい。
2. 許可された燃料タンクだけ使用して下さい。
3. エンジンが動いている際に燃料キャップを外したり補給を行なわないで下さい。給油の前に、エンジンが停止し、完全に冷えているか確認して下さい。
4. 決して屋内では給油をしないで下さい。
5. ヒーターや湯沸かし器等、引火の可能性のある物が置いてある屋内に、機械や燃料タンクを保管しないで下さい。
6. トラックの中や荷台で補給を行なわないで下さい。給油は、乗物から離れた地面の上で行なって下さい。
7. ガソリンスタンド等で機械に直接補給をする際は、トラックから機械を降ろしてから補給して下さい。
8. 機械をトラックの中やトレーラーの荷台で作動させないで下さい。
9. 給油の際は、ノズルを燃料タンクに接触させて下さい。
10. もし、ガソリンが衣類に付着したら、直ぐに着替えて下さい。
11. ガソリンは、燃料タンクからこぼさないで下さい。燃料キャップはしっかりと取り付けて下さい。

## 2-5 操作

1. 回転部に手や足を近づけないで下さい。エンジンが回転している間は、吸引口や排出口の近くに手や足を近づけないで下さい。
2. 砂利等の場所を横切る場合は、エンジンを停止して下さい。
3. 機械の操作は、明るい日中か、十分な照明の下で行なって下さい。
4. 泥酔した状態や薬物を服用した状態で機械を操作しないで下さい。
5. 機械が異常な振動を起こす場合は、直ぐにエンジンを停止し、スパークプラグワイヤーを外して下さい。機械に損傷がないか確認し、もし損傷がある場合は、再始動前に修理して下さい。
6. 崖や溝、堤防の近くで操作しないで下さい。作業者がバランスを崩し、転倒する可能性があります。

7. 穴や見えない危険箇所には、常に注意して下さい。溝や欠落箇所、排水口、フェンス等の近くでは作業しないで下さい。
8. 濡れた芝生や草の上での作業は行なわないで下さい。足元は常に確認して下さい。ハンドルをしっかり握り、歩いて下さい。決して走らないで下さい。スリップすると重大な怪我をする可能性があります。
9. エンジンが回転したまま機械を放置しないで下さい。
10. 機械の清掃、点検、修理を行なう際は、完全にエンジンが停止した事を確認してから行なって下さい。不意にエンジンが始動するのを防ぐ為に、スパークプラグワイヤをプラグから外して下さい。
11. 集塵バックのチャックが開いている状態で機械を操作しないで下さい。
12. 集塵バックを外す前に、エンジンが完全に停止しているかどうか確認して下さい。
13. 集塵バックが取り付けしていない状態では作動させないで下さい。
14. 旋回する際はゆっくり行なって下さい。
15. 一般道路の近くや道路を横切る時は、車に注意して下さい。
16. 密閉された場所では、エンジンを掛けないで下さい。排気ガスは有害な物質を含みます。
17. 吸入口や排出口がふさがりような事があったら、直ぐにエンジンを停止して下さい。スパークプラグワイヤをスパークプラグから外して下さい。
7. エンジンガバナーの調節は行なわないで下さい。調節が必要な際は、購入店へ御相談下さい。
8. 集塵バックは、破れ等がないか定期的に点検して下さい。破れたまま使用すると非常に危険です。擦り切れ、破れ等があった場合はすぐに交換して下さい。
9. スパークテストは、スパークプラグホールの近くで行なわないで下さい。エンジンに引火する可能性があります。
10. 1年に1度は、定期的に購入店に点検をしてもらって下さい。
11. 修理部品に関しては、正規販売店から純正部品のみを購入して下さい。純正部品以外の部品を使用すると機械の性能が十分に機能しない場合があります。

## 2-6 メンテナンスと保管

1. 機械や燃料缶を湯沸かし器や暖炉、ドライヤーなど引火性のある物がある場所には保管しないで下さい。また、保管する際は、エンジンが十分に冷えてから保管して下さい。燃料の保管は、通気性の良い場所に保管し、子供の手が届かない所に保管して下さい。
2. 機械やエンジンは常にきれいに掃除して下さい。芝草や枯葉の付着、余分なグリスの付着はオーバーヒートの原因になります。
3. 燃料を抜く時は、屋外で行なって下さい。
4. 全てのボルト、ナットが適切に締められているか確認して下さい。また、コッターピンなどが適切な場所に取り付けられているか確認して下さい。
5. エンジンを動かすときは、必ず通気性の良い場所で行なって下さい。エンジンの排気ガスには、有害な物質を含みます。閉め切った屋内では使用しないで下さい。
6. 機械の修理や調整を行なう際は、必ずエンジンを停止してから行なって下さい。

### 3. 機械の組み立て

この機械は、工場出荷時に組み立てられています。梱包の関係上、ハンドルの組み立てと集塵バックの取付が必要です。下記に従って組み立ててください。この機械は、工場出荷時に初期調整と試運転を行なっております。購入時に、破損、不具合がないか機械を点検して下さい。また、付属の安全確認説明カードに必要事項を記入し、購入販売店へお渡し下さい。この安全確認説明カードには、保証書も付属されています。このカードを紛失すると、保証修理を受けなくなりますので、大切に保管して下さい。

1. ダンボールから機械を注意して取り出してください。ダンボールの後部を切ると機械を持ち上げる必要がなくなり、取り出しやすくなります。
2. コントロールケーブルがねじれないように、注意してハンドルを広げて下さい。ハンドルをしっかりとフレームに固定して下さい。集塵バックをバックアダプターにはめ込みます。
3. バックアダプターを排出口に取り付けます。ディスチャージドアを開き、アダプターをフランジにスライドさせてはめ込みます。アダプターがしっかりとはめ込まれているか確認して下さい。ディスチャージドアを閉じます。図1と2を参照して下さい。
4. 集塵バックの上部にある2つのストラップをハンドルに引っ掛けます。図3を参照して下さい。
5. アクセサリープラグを取り付けます。図4参照。
6. エンジンオイルを適切な量入れます。エンジンの取扱説明書を参照下さい。
7. 引火の危険性がない屋外に機械を動かします。燃料タンクにガソリンを入れます。エンジンの取扱説明書を参照下さい。ガソリンがこぼれないように注意して下さい。
8. 組み立て・準備は終了です。操作手順に従って試運転を行なって下さい。



図2



ストラップをハンドルに取り付けます。

図3



バックアダプター

ディスチャージドア

固定フランジ

図1



アクセサリプラグをノズルに取り付けます。

図4

## 4. 各部の名称



図 5-1

### 4-1 序論

この取扱説明書はバキュームシーパーを安全にかつ適切に操作してもらう為の物です。操作を始める前に、「2.安全の手引き」をよく読み、この取扱説明書にある警告メッセージを全て完全に理解して下さい。

### 4-2 各部の名称

図 5-1 に各部の名称を示します。操作前に各部の機能を実際に理解して下さい。必要に応じてエンジンの取扱説明書を読み、理解して下さい。操作時には、本取扱説明書とエンジンの取扱説明書を手元に準備して下さい。

### 4-3 警告ラベル

この機械には、安全警告ラベルが貼ってあります。このラベルをよく読み、完全に理解して下さい。また、これらのラベルを常にきれいに見えるようにして下さい。もしラベルが損傷したり、はがれている場合は、新しいものを貼って下さい。



安全に操作する為に重要な項目



危険：飛散物に注意して下さい。作業員以外の人を機械から遠ざけて下さい。



警告：耳栓、保護メガネ、防塵マスクを着用して下さい。

\*日本仕様では、この警告ラベル以外にも日本語での警告ラベルが貼ってあります。同様にこちらも良く読み理解して下さい。

## 5. 操作方法の説明

### 5-1 最初の始動前の点検項目

操作を始める前に、この取扱説明書及びエンジンの取扱説明書を良く読み、完全に操作方法を理解して下さい。以下の項目を点検し、必要であれば適切なサービスを実行して下さい。

#### 5-1-1

ガード、ディフレクター、カバーを点検し、適切な場所にしっかりと取り付けられているかどうか確認して下さい。

#### 5-1-2

機械の構成部品に緩みや損傷がないか点検して下さい。必要であれば、操作する前に修理、交換して下さい。

#### 5-1-3

集塵バックに磨耗や劣化がないか確認して下さい。また、バックがバックアダプターにしっかりと取り付けられているか確認して下さい。

**重要**—バック上部のジッパーを開け、バック内部にも磨耗や劣化がないか確認して下さい。もし、劣化や磨耗があった場合は、交換して下さい。

バックアダプターが本体に適切に取り付けられているかを確認して下さい。また、操作前にバックのジッパーが最後まで閉じられているかどうか確認して下さい。バック上部にある2つのストラップが適切にハンドルに取り付けられているか確認して下さい。

図 6-2、6-3 参照。

#### 5-1-4

エンジンオイルを点検し、必要に応じて Full マークの所になるようにオイルを追加して下さい。オイルの規格などはエンジンの取扱説明書を参照して下さい。図 6-1 参照。

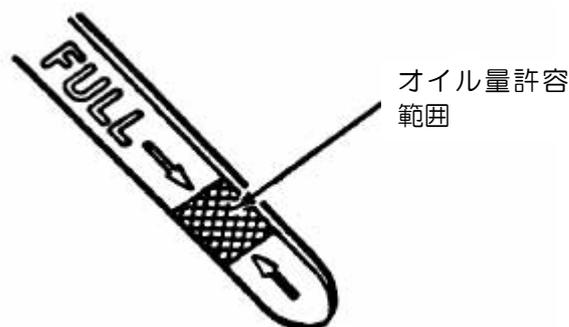


図 6-1

#### 5-1-5

エンジンスロットルコントロールを点検し、スムーズに動く事を確認して下さい。

#### 5-1-6

機械の表面やエンジンは常にきれいにし、落ち葉、芝草、オイル等が付着しないようにして下さい。エンジンの空気吸入口や冷却フィンに常にきれいにして下さい。

#### 5-1-7

ガソリンの補給は、屋外で行なって下さい。補給後は、燃料キャップがしっかりと締められているか確認して下さい。推奨されるガソリンの種類については、エンジンの取扱説明書を参照下さい。

#### 5-1-8

吸引口の高さを調節します。ハンドルを持ち上げながら、高さ調節レバーを握り、高さを調節します。

図 6-4 参照。



図 6-2



図 6-3



図 6-4



## 警告

操作前に、集塵バックとバックアダプターが適切に取り付けられているか確認して下さい。もし、集塵バックが磨耗や劣化している場合は、交換して下さい。

## 5-2 始動、停止方法

### 5-2-1 エンジンの始動方法

始動前に 5-1 の点検項目を全て確認して下さい。この機械は、排出口の部分に安全装置が付いています。バックアダプターが適切に取り付いていないとエンジンは始動しません。バックアダプターが適切に取り付いているか確認して下さい。

1. 機械を屋外の平らな場所に移動して下さい。
2. 燃料コックを「ON」の位置にします（ホンダエンジンのみ、エンジンの取扱説明書を参照下さい）。
3. エンジンスロットルを前方にいっぱいにします。ブリグスエンジンでは「FAST」の位置（うさぎ）、ホンダエンジンでは「CHOKE」の位置になります。注意：エンジンが暖まっている状態で再始動する際はチョークは必要ありません。
4. ブリグスエンジンの場合：冷えたエンジンを始動する場合は、プライマーポンプを 3 回押して下さい。注意：エンジンが暖まっている状態で再始動する場合はプライマーの必要はありません。
5. スターターロープを圧縮を感じるまで引きます。エンジンが掛かるまで、素早くスターターロープを引きます。
6. ホンダエンジンの場合：エンジンがかかったらエンジンスロットルを「FAST」（うさぎ）の位置にします。

### 5-2-2 エンジンの停止方法

1. エンジンスロットルを「STOP」の位置に戻します。

2. 集塵バックを取り外す前に、完全にエンジンが停止したかどうか確認して下さい。
3. エンジンを停止する前に、スロットルコントロールを「SLOW」（かめ）の位置にし、アイドリング運転を行なって下さい。
4. ホンダエンジンの場合：燃料コックを「OFF」の位置にして下さい。



## 警告

操作前に、集塵バックとバックアダプターが適切に取り付けられているか確認して下さい。また、バックのジッパーが完全に閉じられているか確認して下さい。機械を操作中は、保護メガネ、耳栓、防塵マスクを必ず装着して下さい。

### 5-2-3 操作方法

このバキュームスイーパーは、乾燥した枯葉や刈草、おが屑だけでなく、缶やペットボトルや砂を吸い込む事ができる構造になっています。

しかし、固い非有機化合物を吸引すると機械のダメージを早める事になります。特に砂は、ブロワハウジングやインペラー、バックアダプターの消耗を早めます。

1. 吸引口の高さを調節します。最大限吸引能力を上げる為には、吸引口は対象物に対してできるだけ近い位置にします。そしてエンジンスロットルは「FAST」の位置で作業を行ないます。
2. 集塵バックを点検します。適切に本体に取り付いているか、ジッパーが完全に閉じているか、きれいで乾燥しているかどうか確認して下さい。また、アクセサリプラグがバキュームノズルに適切に取り付いているか確認して下さい。
3. エンジンを始動します。常にエンジンスロットルが「FAST」の状態が必要というわけではありません。作業条件に応じて、吸引高さでエンジン回転を調節して下さい。
4. 乾いたホコリだらけの状態で作業をする場合は、エンジンスロットルを「SLOW」の位置で作業する必要があるかもしれません。集塵バックは、細かいホコリで早期にふさがりやすくなります。バック側面に、ジッパー付の通気フラップがあります。これをあける事により気流を変える事ができます。しかし、エンジン回転中は決してジッパーを開けないで下さい。
5. 吸引能力を最大限引き出す為には、集塵バックをきれいに保ち、バックに吸引物を入れすぎないで下さい。バックは、使用前に完全に乾いている必要があります。



## 警告

エンジン始動中は、集塵バックを外したり、ジッパーを開けたりしないで下さい。エンジンを停止し、完全に回転が停止した事を確認してから行なって下さい。

6. 吸引口や排出口が詰まったりふさがれた場合は、直ぐにエンジンを停止して下さい。必ずエンジンが停止しているのを確認してから、集塵バックを外したり、吸引口付近で詰まっている物を取り除いて下さい。不意な始動を防ぐ為に、スパークプラグからスパークプラグワイヤを外して下さい。詰まりを取り除く際は、鋭利な物がある可能性がある為、防護手袋を着用して下さい。

で、機械を保管しないで下さい。特に、可燃性のある物や発酵による熱で発火する可能性がある物を入れたまま保管しないで下さい。

### 5-3 ホースキット（オプション品）

ホースキットは、フロントプラグに差し込む事で使用できます。機械が進入できない場所で使用すると便利です。販売店へ御相談下さい。



#### 警告

爆発の可能性がある物、濡れている物、有毒な物は決して吸い込まないで下さい。集塵バックに物が入っている状態

## 6. メンテナンス



### 警告

エンジンが回転中は、全ての点検、調整、修理は行なわないで下さい。エンジンが停止している事を確認して下さい。スパークプラグワイヤをプラグから外して下さい。エンジン停止直後は、エンジンと構成部品が非常に熱を持っています。全てのメンテナンスを行なう前に、エンジンが完全に冷えている事を確認して下さい。

### 6-1 メンテナンスを行なう前に

バキュームスィーパーの性能を完全に保つ為に、純正部品を販売店から購入し使用して下さい。また、修理が必要な際は、御購入販売代理店へ御連絡下さい。販売代理店へ連絡する際は、型式とシリアルNo.を御連絡下さい。バキュームスィーパーの性能を保持する為に、販売代理店に定期点検を依頼して下さい（1度/1年を目安に）。

### 6-2 メンテナンスー最初の使用 5 時間後

定期的な点検は、バキュームスィーパーの性能を維持する為に重要です。推奨する間隔でのメンテナンスを実行して下さい。本取扱説明書とエンジンの取扱説明書を参照し、定期点検を確実にこなして下さい。

#### 6-2-1 エンジンオイルの交換

機械の設計上、オイルドレインプラグが使用できないモデルがあります。オイルディップスティックを抜き、そこからオイルを抜く方法が一番簡単な方法です。エンジンの取扱説明書を参照し、適切な規格のオイルを使用して下さい。

#### 6-2-2 エアクリーナの点検

エンジンエアクリーナーは、デュアルエアクリーナーを使用しています。プレクリーナーとカートリッジの両方を点検して下さい。適切な点検方法は、エンジンの取扱説明書を参考下さい。

#### 6-2-3 本体の点検

緩んでいるパーツがないか、損傷、磨耗している部分はないか、注意深く点検して下さい。機械を動かし、異常な振動や騒音がないか点検して下さい。エンジンを停止した後、集塵バックのジッパーを開け、バックの中と排出アダプターに異常がないか確認して下さい。もし、バックとアダプターに磨耗や破損がある場合は、交換して下さい。必要であれば、御購入販売代理店へ御相談下さい。

### 6-3 メンテナンスー25 時間ごと

この取扱説明書の「メンテナンススケジュール」とエンジンの取扱説明書を参照して下さい。推奨される定期点検を確実にこなして下さい。

### 6-4 保管ーシーズン終わりに

機械や燃料を引火性のある場所に保管しないで下さい。湯沸しポットやドライヤー等発熱するような物と同じ場所には決して保管しないで下さい。機械を保管する前にエンジンが完全に冷めている事を確認して下さい。保管をする際は、子供の手の届かない場所に保管して下さい。「2-4 ガソリンの安全な取扱い」と「2-6 メンテナンスと保管」を参照し、適切に保管して下さい。

1. エンジン、集塵バック、機械全体を清掃して下さい。
2. 必要に応じて、メンテナンスを行なって下さい。「メンテナンススケジュール」の項目を参照して下さい。
3. エンジンが冷えた状態で、ガソリンを燃料タンクから抜いて下さい。必ず屋外で行なって下さい。
4. エンジンを始動し、キャブレターからガソリンを全て除いて下さい。
5. エンジンの取扱説明書を参照し、エンジンの保管方法を守って下さい。

## 7. 調整と修理



### 警告

エンジンが回転中は、全ての点検、調整、修理は行なわないで下さい。エンジンが停止している事を確認して下さい。スパークプラグワイヤをプラグから外して下さい。エンジン停止直後は、エンジンと構成部品が非常に熱を持っています。全てのメンテナンスを行なう前に、エンジンが完全に冷えている事を確認して下さい。

### 7-1 エンジンの調節と修理

エンジンの取扱説明書を参照し、実行可能な修理や点検を行なって下さい。点検や修理方法が完全に理解できない場合は、御購入販売店へ御相談下さい。

### 7-2 インペラーの交換

インペラーは消耗品です。磨耗の割合は、吸引物によりかわってきます。もし、機械から異常な音や振動がでた場合、直ぐにエンジンを停止して下さい。エンジンが完全に冷えてから、下記手順に従って下さい。

1. 通気性の良い屋外で、機械から燃料を抜きます。
2. 機械からエンジンオイルを抜きます。
3. スパークプラグワイヤをスパークプラグから外します。
4. エンジンが取り付けいた状態で、エンジンマウンティングプレートをインペラーハウジングから外してください。
5. エンジンクランクシャフトからボルトを外し、インペラーを外してください。

**注意：エンジンクランクシャフトからインペラーを取り外す際、プーラーが必要な場合があります。**

6. インペラー、ハブ、キー、クランクシャフトを点検し、磨耗や損傷がないか点検して下さい。
7. クランクシャフトに新しいインペラーを取り付けます。取り付けの際、新しいキーとインペラー取付ボルト、ワッシャーを使用する事を推奨します。締め付けトルクは、54Nmです。
8. プロワーハウジングにエンジンプレートを取り付けます。しっかりと締め付けられているか確認して下さい。
9. スパークプラグワイヤーがプラグに取り付けられていない状態で、リコイルスターターをゆっくり引き、エンジンとインペラーがスムーズに回転しているか確認して下さい。
10. スパークプラグをプラグに取り付けて下さい。
11. エンジンの取扱説明書を確認し、適切なエンジンオイルを適切な量入れて下さい。ディップスティックを確認し、エンジンオイルが適切な量入っているか確認して下さい。

12. ガソリンを燃料タンクに入れて下さい。

### 7-3 インペラーハウジングライナーの交換方法

(ホンダエンジンモデルのみ)

インペラーハウジングライナーは、消耗品です、交換する事ができます。このページにある警告に注意して、インペラーハウジングとライナーを点検します。ディスチャージドアを開け、目視でハウジングとライナーに損傷がないか確認して下さい。このライナーは、ホンダエンジンモデルのみに付いていません。

## 8. トラブルシューティング

トラブル内容	対処方法
<b>エンジンが始動しない</b>	
燃料不足	新しい燃料を給油します
チョークかプライミングが必要	スロットルレバーをチョークの位置にします。 または、プライミングをします。
スパークプラグワイヤーが外れている	スパークプラグワイヤーをスパークプラグに接続します。
燃料コックが OFF になっている（ホンダエンジンのみ）	燃料コックを ON にします。
エンジンスロットルコントロールが「STOP」の位置になっている。	スロットルコントロールの位置を「FAST」の位置か「CHOKE」の位置にします。
エンジンエアクリナーが汚い、詰まっている。	エンジンの取扱説明書を確認し、掃除するか、交換して下さい。
スパークプラグが劣化している	エンジンの取扱説明書を確認し、スパークプラグを交換して下さい。
<b>始動後にエンストを起こす</b>	
エンジンスロットルコントロールの位置が「CHOKE」の位置になっている。	スロットルコントロールの位置を「FAST」の位置にして下さい。
燃料コックが OFF になっている（ホンダエンジンのみ）	燃料コックを ON にします。
燃料が不足している	新しい燃料を補給します
エアクリナーが汚れている	エアクリナーを掃除又は交換します
スパークプラグの電極の間隔が正しくない	スパークプラグの電極間隔を調節します
燃料フィルターが詰まっている	燃料フィルターを交換します
ごみがエンジンの冷却ファンを妨害している	ごみを取り除いて下さい。
<b>エンジン出力が上がらない</b>	
エンジンに負荷がかかりすぎている	エンジンの負荷になるものを取り除きます
エアクリナーが汚れている	エアクリナーを掃除又は交換します
冷却フィンやエアスクリーンが汚れている	冷却フィンやエアスクリーンを掃除します
スパークプラグが故障している又は汚れている	スパークプラグを掃除／交換します
水、ごみ、古い燃料が燃料系統に入っている	燃料系統を掃除し燃料フィルターを交換
<b>エンジンを止めた時バックファイヤー発生</b>	
スロットルレバーが高速のままである	低速で約 1 分回転させてスイッチを切ります
<b>振動、騒音が大きい</b>	
インペラーが磨耗、損傷し、バランスがくずれている	御購入販売店へ御相談下さい。
インペラーの取付が不備	インペラーを適切にエンジンクランクシャフトに取り付けます。
部品のゆるみ、脱落	機械を点検し、適切に取付して下さい。
<b>吸引能力の低下</b>	
集塵バックが汚れている、いっぱいになっている	集塵バックの中身を捨て、きれいに掃除して下さい。
アクセサリプラグがノズルから外れている	アクセサリプラグを適切に取り付けて下さい。
吸引口が高すぎる、低すぎる	適切な高さに調節して下さい。

エンジン回転が低すぎる	スロットルコントロールでエンジン回転を上げて下さい。
吸引口や排出口が詰まっている	吸引口や排出口に詰まっているゴミを取り除いて下さい

※必要に応じて、エンジンの取扱説明書も確認して下さい。

## 10. 定期整備表

項目	参照頁	使用する前に	5時間 使用毎に	25時間 使用毎に	50時間 使用毎に	100時間 使用毎に	シーズン 毎に
エンジンオイル量の点検	8※	●					
最初のオイル交換	10※		●				
定期的なオイル交換	10※			●*1			
エアクリナーの 点検と清掃	※			●*2			
燃料フィルターの交換	※					●	
スパークプラグの交換	※					●	
エンジンフィンとカバー及 び冷却系統の清掃	※					●	
エンジン冷却システムの掃 除	※					●*2	
集塵バック、アダプターの掃 除、点検	8, 10	●	●				
機械の点検（緩み、振動）	10		●				

※) エンジンの取扱説明書を参照して下さい。

\*1 気温が高い状態や非常にホコリ多い条件で使用している場合は、25時間ごとにオイル交換して下さい。

\*2 非常にホコリ多い条件で使用する場合は、より頻繁に点検、掃除して下さい。



### 警告

集塵バックは、消耗品です。通常の使用でも磨耗、損傷してきます。バキュームスイーパーを使用する前に常に集塵バックの点検を行なって下さい。もし、磨耗や損傷が見つかった場合は、すぐに純正部品と交換して下さい。



**SNAPPER**

# **GIANT-VAC**

## 手押式バキュームスーパ 取扱説明書

ご使用になる前に必ず取扱説明書をお読み下さい



ブリッグス・アンド・ストラットンジャパン株式会社

〒523-0817 滋賀県近江八幡市浅小井町 591  
TEL : 0748-34-0200 FAX : 0748-33-3818

SNP-BSJ07/2009.09